

# 大人の学びなおし講座

～女性も男性も  
暮らしやすい社会のために～

## 第1回

# 報告

6月23～29日は「男女共同参画週間」

▼ 2019年度キャッチフレーズ

『男女共同参「学」』

『知る 学ぶ 考える 私の人生 私が作る』

# “暮らしやすさ”のキーワード ～男女共同参画を学ぶ～

松山東雲短期大学 副学長・教授

講師 桐木 陽子 さん



令和元年6月12日(水)「大人の学びなおし講座」第1回を開催しました。講師の桐木さんは、長年「ビジネス」と「女性」をキーワードに研究者としてご活躍され、現在東雲短期大学の副学長・教授、そして当財団の理事長も務められています。

今回は、「男女共同参画」の総論ということで、愛媛における男女共同参画にまつわる現状や、「女性活躍推進法」や「北京宣言」の説明、これからの働き方の事例など、グラフや図を用いながら分かりやすくお話しいただきました。

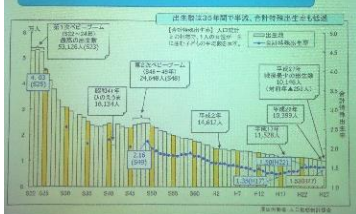
男女の性差や雇用形態の違いによる賃金の差が、老後の格差につながっている現代。女性が活躍できる社会の実現は、女性だけの問題ではありません。あらゆる分野に「男女共同参画の視点」が必要であること、女性が生きやすい社会が“暮らしやすい”社会となること、改めて実感することが出来ました。

また、学ぶことで意識が変わる、新たな価値を探すことが出来る、そのために「大人の学びなおし」が大切だと締めくくってくださりました。

### 女性活躍推進法 第1条

この法律は、近年、自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性とその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍することが一層進歩していることに基づき、**男女共同参画社会基本法**の基本理念にのっとり、女性の職業生活における活躍の推進について、その基本原則を定め、並びに国、地方公共団体及び事業主の責務を明らかにするとともに、基本方針及び事業主の行動計画の策定、女性の職業生活における活躍を迅速かつ重点的に推進し、もって男女の人格が尊重され、かつ、急速な少子高齢化の進展、国民の需要の多様性等の他の社会経済情勢の変化に対応できる豊かな活力ある社会を実現することを目的とする。

### 『人口減少対策、出生数と合計特殊出生率の推移』



## 参加者の声

「女性」に視点をあてて考えると、社会全体が暮らしやすくなると感じ、自分で取り組めることから始めたと思いました。

(20代・女性)

大変整理され、分かりやすくお伝えいただき「学びなおし」に最適な時間をいただきました。自宅に帰りしっかり腹に入れ込みます。

(60代・女性)

1995年北京宣言からの外圧によって、日本での男女共同参画が発案していく歴史について知らなかったのが、意外と昔から言われていたことを知りびっくりした。

(40代・女性)

男女共同参画社会づくりの基礎・基本について再認識できた。今後とも、学びなおしを続けていきたい。

(70代・女性)

# 大人の学びなおし講座

～女性も男性も  
暮らしやすい社会のために～

## 第2回

# 報告

# DV・児童虐待を知る

～あなた、身近な人を守るために～



講師

松山市子育て支援課  
家庭・子育て相談室相談員

川口 梅子 さん

令和元年6月28日(金)「大人の学びなおし講座」第2回を開催しました。講師の川口さんは、松山市 子育て支援課 家庭・子育て相談室の相談員として従事され、家庭や子育てにおけるさまざまな悩みの解決に取り組まれています。

今回の講座では『DV・児童虐待を知る』をテーマに、現状のデータや具体的な相談事例等をご紹介くださいました。お話しの中で特に印象に残ったのが、夫婦ゲンカは対等なもの、支配と被支配の関係になるとDVであるということでした。また児童虐待をしている人の54%は児童の実の母親であり、父親より母親の方が割合が大きいというデータに衝撃を受けました。

年間3000件にも及ぶ相談に、毎日真摯にお答えされている川口さん。DVや児童虐待はどうして起きてしまうのか、社会環境や心理的要因についても大変考えさせられ勉強になりました。

最後に自分たちのできることを、DV・児童虐待の問題にもっと関心を持って、現状を周りの方に伝えて欲しいとお話しされていました。メディアでは連日のように、心苦しいDVや虐待の事件が報道されています。社会問題を解決するために大切なことは、まず事実を正しく知ることです。出来ることを少しずつ広げていけたらと思います。



## 参加者の声

いろいろな事例をまじえてのお話で、よくわかった。皆で考える事だと思う。

(60代・女性)

事例をあげて、具体的に状況を伝えていただき、胸に響いた。DVだけでなく、しっかり虐待までの関連を理解して、広い範囲で協力した取組が必要であることを強く認識しました。

(60代・女性)

もっと詳しく知りたいと思いました。DV・虐待についての勉強会が定期的であればいいと思います。自分に何か協力できることがあればいいのですが。教育等の資格もっている高齢者も多くいると思われるのですが、その人達の活用についても考えていただければと思います(ボランティアなどの)

(60代・女性)

暴力をする人、暴力に耐えている人、どの人にも幼児期がありました。この幼児期こそ大切にされるべきだと思います。家族について、家庭についての学びを義務教育の中でして欲しい。

(70代・女性)



# 大人の学びなおし講座

～ 女性も 男性も  
暮らしやすい社会のために～

## 第3回

# 報告

# 地域防災に不可欠な 女性の力

講師

女性と防災の会 代表

小國 恵子 さん



令和元年7月10日(水)「大人の学びなおし講座」第3回を開催しました。

講師の小國さんは、「女性と防災の会」の代表を務められており、平成30年7月豪雨の被災地はもちろん、東日本大震災以来、様々な被災地に出向き、男女共同参画の視点で考える防災についての取り組みを続けていらっしゃいます。

今回は『地域防災に不可欠な女性の力』をテーマに、講話とワークショップを行っていただきました。講話では、「過去の災害を振り返る」「避難所の現状を知る」といった内容で小國さんの実体験なども交えながらお話いただき、後半のワークショップでは、4人で1グループとなり参加者の皆さんでお話する時間が設けられました。避難所で起きる問題として、食事の配分をどのようにするか、間仕切りを入れるか、この部屋にあるもので仮設トイレを作るにはどうしたらいいかといったことを話し合い、様々な条件と他の方の意見も聞くことで、自分だったらどう対応するか、身近な問題として考えることが出来たと思います。

いつ起こるか分からない災害に対して、ひとり一人が備えること、地域で支え合う、女性の力を活かすといった考え方の重要性を、学びなおす機会になりました。



**女性たちには こんな“力”が...**

ケアを必要とする人たちのニーズに気付く、女性たち

- ・日常生活、育児、介護の担い手
- ・家庭生活者としての目線
- ・地域活動
- ・要配慮者等のケアの重要な役割
- ・地域の情報源
- ・こまやかな心遣い、気づき

女性の生活者としての知識や経験が、人々の「命」「暮らし」を支える

それぞれの分野に女性のリーダーが必要

**まとめ** 地域の防災力を高めるには

地域の特性とリスクを知る  
被災に取組む 防災訓練

住民ひとり一人が備える 自分の命を守る、ケアをしない 生き残った知識と備え 住宅耐震化、地震講習 水・食料備蓄 トイレ対策 避難行動に関する取り決め	地域で備える 避難場所、避難所の環境を整える 避難生活のルール作り 人材育成、資機材
自助+共助	連携する 学校、保育園、介護施設企業、医療機関、行政等 地域企業、スーパーマーケットほか

※地域で女性リーダーを増やす

全3回の「大人の学びなおし講座」、各講師の方から専門的なお話を分かりやすくお話いただき、自分の身近な問題として考え学ぶことが出来たと思います。いくつになっても学ぶ姿勢を大切に、また周りの方にも今回学んだことをお伝えいただけたらと思います。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

## 参加者の声

昨年、防災士をとり、今、地域の自主防災チームにも入っています。女性の視点で地域の減災に協力していきたいと思います。(30代・女性)

地域にもっとこの話を広げたい。女性の力は大きい。リーダーに引き入れるべき。(40代・男性)

災害時における具体的な事例についてたくさんの話が聞けて良かったです。今後は防災訓練にも積極的に参加したいと思います。今日は参加できて本当に良かったです。(60代・女性)